

アライプロバンス初の物流施設が千葉・浦安で完成 3.5万平方メートル、13年ぶりの大型供給

総合不動産事業に参入したアライプロバンスは10月28日、千葉県浦安市で建設を進めてきた初の自社開発物流施設「アライプロバンス浦安」の竣工記念式典を現地で開催した。地上4階建て、延べ床面積は3万4598平方メートル。同市内では2008年以来、13年ぶりの供給となる大型賃貸倉庫。現時点で日通・NPロジステイクスが賃貸面積の50%程度を利用することが決まっている。

外構部に自然を模した独自の庭園を3カ所整備、季節に応じて植栽が彩を変えたり、海を臨めるようにしたりと施設で働く従業員がリラックスできる空間を確保することを予定している。

デザインはルイ・ヴィトンのポップアップショップなどの設計を手掛けてきた著名なデザイナー・建築家の菅原大

輔氏が担当。アライプロバンスは「工業団地の風景を更新する物流倉庫」を実現し、優れたデザインを持つ製品や建築物などに贈られるグッドデザイン賞の獲得を目指している。他にも、建物の正面入り口付近にバス待合所を設けるなど、働きやすい環境の整備に努めている。

機能面では、建物の1階と2階のバースへそれぞれ別の動線でトラックが直接乗り入れられる設計を採用。天候に関わらず円滑に荷さばきを行えるよう配慮している。2階は建物正面のスロープから直接アクセスできる。

1階は防火区画を最大限防火シャッターでカバーし、防火機能を損なわないまま仕切りを減らして柔軟に庫内を活用できるよう整備。上下搬送機を各エリアに設け、どのようにフロアを分割しても基本的に必ず上下方向への搬



「アライプロバンス浦安」の外観



施設前で整備が進められている庭園

送機を使えるようにした。太陽光発電パネルやLED照明なども導入する。

同社は2棟目として、東京都江戸川区で「アライプロバンス葛西」開発の準備を進めており、22年夏の着工を目指す。(川本、藤原)